



令和元年11月15日
第827号

一般財団法人日本遺族会
〒100-0001 東京都千代田区
九段南一丁目六番一七号
千代田会館三階
電話 03-3261-5521
00160-6-25389
振替 00160-6-25389
編集 発行人 盛川英治
毎月1回15日発行
定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

靖国神社 創立150年記念大祭 秋の例大祭にあわせて斎行

東京・靖国神社では、今年で御創立百五十年を迎え、十月十七日から二十日までの四日間にあたり秋の例大祭並びに御創立百五十年記念大祭が斎行された。十八日の秋季例大祭には、天皇陛下から勅使が差し遣わされ御幣帛が奉納され、十九、二十日の両日には記念大祭「第一日ノ儀」、「第二日ノ儀」が執り行われた。

新たに7柱を合祀

靖国神社秋季例大祭は十月十七日の「清祓」で始まり、午後七時から霊聖奉安祭が斎行され、新たに七柱を合祀した。翌十八日には「当日祭」が斎行され、全国から戦没者遺族をはじめ崇敬者、各界の代表など約五百人が参列して厳粛に執り行われた。



本殿に参進する神官=10月18日、靖国神社で

山口宮司が祝詞を奏上し、十時三十分には、天皇陛下より遣わされた勅使・十時和孝掌典が参進して昇殿。神前に天皇陛下よりの御幣帛を奉って御祭文を奏上し、玉串を奉奠して拝礼した。

御創立百五十年記念大祭では、山口宮司が創立

超党派の国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久参議院議員)は、十月十八日午前八時、靖国神社に昇殿参拝した。水落敏栄本会会長(参議院議員)をはじめ加藤寛治農林水産副大臣、大臣政務官五人、自民党、国民民主党、日本維新の会、NHKから国民を守る

百五十年を寿ぐとともに、我が国が平安であることを祈念する旨の祝詞を奏上した。十九日の第一日ノ儀には水落会長他約六百五十人が参列し、二十日の第二日ノ儀には約千四百人が参列した。

安倍晋二内閣総理大臣、大島理森衆議院議長、山東昭子参議院議長、加藤勝信厚生労働大臣が「大真榊」を奉納した。

また、大祭に合わせ、安倍晋二内閣総理大臣、大島理森衆議院議長、山東昭子参議院議長、加藤勝信厚生労働大臣が「大真榊」を奉納した。安倍晋二内閣総理大臣は、大島理森衆議院議長、山東昭子参議院議長、加藤勝信厚生労働大臣が「大真榊」を奉納した。

総理は平成二十五年度の春季例大祭から毎年、春秋の例大祭に大真榊を奉納している。

本会関係者 栄えある受賞

秋の叙勲

政府は令和元年秋の叙勲及び褒章受章者を発表しました。栄誉に輝いた本会関係者は次の方々である。

▼旭日大綬章
谷垣禎一氏(74歳)
京都府遺族会元会長



谷垣禎一氏



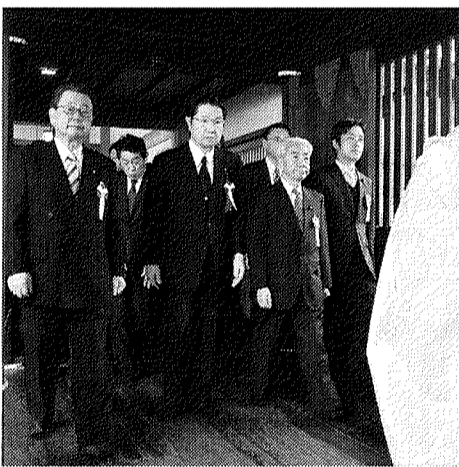
柴田義継氏

▼旭日双光章
宇田川毅雄氏(77歳)
本会副会長、東京都遺族連合会会長

▼旭日単光章
小林茂隆氏(87歳)
元本会評議員、石川県遺族連合会副理事長

▼旭日単光章
岩男立男氏(85歳)
本会評議員、大分県遺族連合会会長

▼旭日単光章
旭日単光章
小林茂隆氏(87歳)
元本会評議員、石川県遺族連合会副理事長



尾辻会長(右から2人目)を先頭に本殿へと向かう「みんなで参拝する国会議員の会」=10月18日、靖国神社で

また、衛藤晟一沖縄北方・一億総活躍担当大臣が十月十七日に、高市早苗総務大臣が十月十八日にそれぞれ参拝された。

閣僚の参拝は平成二十九年春の例大祭以来、二年半ぶりとなった。

声なき声

天皇陛下が即位を内外に宣明される「即位の礼」の中心儀式「即位礼正殿の儀」が10月22日、186の国や国際機関の代表者を含む約2000人が参列して皇居・宮殿「松の間」で行われた▼天皇陛下は高御座と呼ばれる壇に昇られ、「上皇陛下が三十年以上にあたる御在位の間、常に国民の幸せと世界の平和を願われ、いかなる時も国民と苦楽を共にされながら、その御心を御自身のお姿でお示しになってきたことに、改めて深く思いを致し、ここに、国民の幸せと世界の平和を常に願ひ、国民に寄り添いながら、憲法にのっとり、日本国及び日本国民統合の象徴としてのつとめを果たします」と誓われた▼象徴天皇として、国民のために祈る姿は昭和天皇から上皇陛下へと引き継がれ、戦後生まれの今上陛下が間近でご覧になり、学んでこられたからこそのお言葉だと拝察する。感謝の気持ちになったのは、筆者だけではないだろう▼「世界の平和」は陛下が5月、即位後に国民の代表と初めて面会した「即位後親見の儀」や一般参賀のお言葉でも述べられている。平成に続き令和の時代も必ずや平和な時代とすべく、恒久平和を希求する遺族会を次世代に繋げる努力を怠ってはならない。(M)

令和元年10月

台風19号・21号、豪雨による東日本各地の

被災者の皆様にご見舞い申し上げます

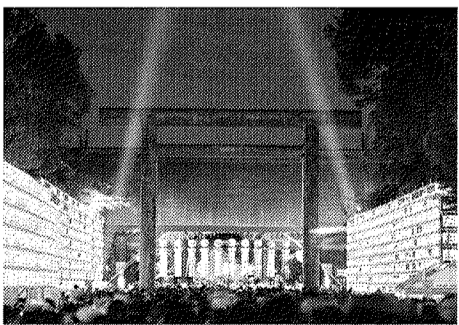
一般財団法人 日本遺族会

令和二年版 靖国カレンダーを 家庭にかけましょう

申し込み方法
維持会費 一口五〇〇円(送料別途)を添えて

①英霊にこたえる会靖国カレンダー業務室(〒100-0007 東京都千代田区九段北三丁目一靖国神社遊就館内) 電話 03-3261-6414 〇・FAX 03-3261-7415。 http://seireinkotenkaikai.com のいずれか

②別途申込書で、お住まいの「英霊にこたえる会都道府県本部」宛。部数は一部(一口)から取り扱っております。送料は、前記「都道府県本部」または、「靖国カレンダー業務室」に、お問い合わせ下さい。



7-8月 期間中約16万人の出入で賑わった平成30年 靖国みたままつり(毎年7月13日~16日)

●送付先
維持会費は、左記宛に送金願います。
郵便局 郵便振替
口座番号 〇〇一六〇一七一七〇四
口座名 英霊にこたえる会
靖国カレンダー業務室

英霊の御心を 次の世代に伝えましょう

秋季慰霊祭を挙行

秋篠宮皇嗣同妃両殿下御臨場

千鳥ヶ淵戦没者墓苑

東京・千代田区の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で十月十八日、秋篠宮皇嗣同妃両殿下御臨場のもと、創建六十周年記念秋季慰霊祭がしめやかに執り行われた。慰霊祭には全国から参集した遺族、同墓苑奉仕会の会員、統合幕僚会議議長をはじめ陸・海・空各幕僚長、各自衛隊代表部隊、在日駐在武官などが参拝し、戦没者の冥福を祈った。

創建六十周年記念秋季慰霊祭は、内閣総理大臣 天皇御製奉誦・舞踊、上皇陛下御製奉誦・詩舞、代理、日本遺族会水落敏栄会長ら六百人が参列し午後一時、秋篠宮皇嗣同妃両殿下御臨場で挙行された。

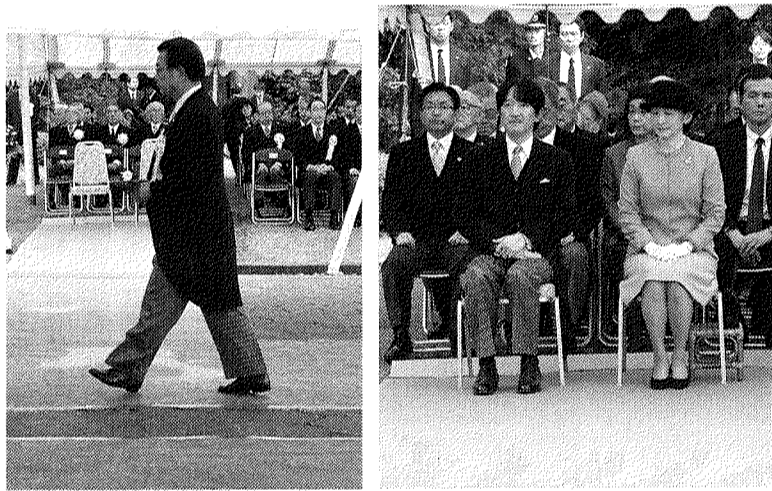
開式の辞に続いて、陸上自衛隊東京中央音楽隊の奏楽により国歌斉唱を行い、献茶の儀、津島雄二氏による「里の秋」みかんの花咲く丘の三曲が奉唱された。

内閣総理大臣による追悼の辞(代理代読)のあうちに式典は終了した。

下が英霊に対し深々と御拝礼、両殿下に合わせ参列者一同が拝礼し、黙禱を捧げた。秋篠宮皇嗣同妃両殿下が御退場の後、陸・海・空各自衛隊代表部隊が拝礼、水落敏栄会長をはじめ来賓の献花が行われ、遺族ら参列者の焼香と続き、厳粛のうちに式典は終了した。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑先の大戦で亡くなられた戦没者の遺骨を納めるため、昭和二十四年日本国政府により建立された。

昭和二十八年以降政府派遣団が遺骨収集したものの、戦後海外から帰還した部隊や個人が持ち帰ったもの及び海外において



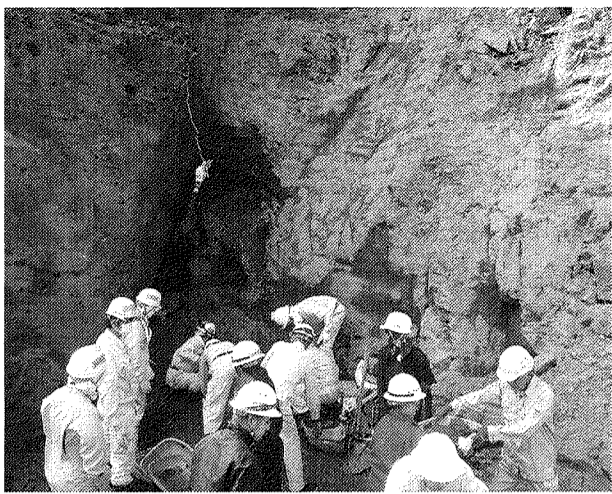
秋篠宮皇嗣同妃両殿下ご臨席される秋篠宮皇嗣同妃両殿下 10月18日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて

犠牲となった一般邦人も含まれている。遺骨で、現在三十七万六千九百九十九柱が納骨されている。

硫黄島で遺骨収集

本会から6人が参加協力

日本戦没者遺骨収集推進協会は、九月二十四日から十月八日の期間で硫黄島遺骨収集派遣(第二)派遣団は、事前に掘削



北観音付近の壕での収容作業に従事する団員 = 9月27日、硫黄島で

調査立会団が現地調査したうえで選定した壕等、第一回収集派遣団からの継続壕である、硫黄島北側の為八海岸と外周道路

との間にある地下壕、北端コーストガードから北観音付近にかけての外周道路外側の地下壕及び滑走路地下壕等で収容作業を行った。

今回派遣団が収容した遺骨は四柱で、遺骨は島内の厚生労働省事務所棟に仮安置された。

なお、派遣団は台風十九号の影響により、予定の一日繰り上げ十月八日浦市の「勝浦ホテル」三日間で六十七人が出席した。

みんなで参拝

衆・参国會議員

令和元年十月十八日、「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」で参拝した百六十五人(代理人含む)の衆・参議員は次のとおり。

- 【党派別、敬称略】
- 議員本人参拝
- 衆議院
- 【自民党】逢沢一郎、青山繁晴、山周平、あきもと司、池田道孝、井上信治、井林辰憲、今村雅弘、岩田和元、中谷真一、中村裕之、親衛藤生士郎、大串正
- 参議院
- 【自民党】逢沢一郎、青木高木毅、高橋修一、高橋ひなこ、武村展英、田村憲久、津島淳、富樫博之、とかしきなおみ、長尾敏、長坂康正、中谷元、中谷真一、中村裕之、池田誠章、有村治子、石井

南方二地域で調査

未送還の遺骨情報収集

日本遺族会は、日本戦没者遺骨収集推進協会が実施している、海外に未だ残されている遺骨に関する情報収集及び遺骨の収容等を行う現地調査に協力している。今回、ピスマーク諸島、ミャンマーの各地域の派遣に対し本会からも参加協力した。

派遣団は西ニューブリテン州ガルからポートワレモ(ツルブ)まで移動しながら、旧日本軍が転進した経路上の村落を訪問し、ポスター・パンフレットを配布して現地住民に対し事業趣旨説明した。

第三と第二で開催

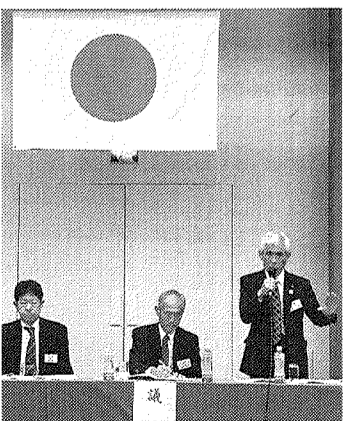
特別委員会の答申にむけて議論

十月十六、十七日の両日、和歌山市の「和歌山マリナーシティホテル」で七十二人が出席して第三ブロック会議が開催された。同日の両日は、勝利の「勝浦ホテル」三日間で六十七人が出席した。

矢患生、三原朝彦、宮下一郎、山口泰明、山田賢司、山本公一、渡辺博道【自民党】青木一彦、大

- 【自民党】赤澤亮正、あべ俊子、甘利明、石破茂、うへの賢一、江渡聡徳、大岡敏孝、小淵優子、梶山弘志、門博文、加藤勝信、金子俊平、金田勝年、神山佐市、木原稔、熊田裕通、塩谷立、新藤義孝、鈴木俊一、竹下亘、田中和徳、棚橋泰文、谷川弥一、土屋品子、寺田稔、渡海紀三朗、永岡桂子、西村康稔、丹羽秀樹、根本幸典、野田聖子、橋本岳、葉梨康弘、福井照、藤原崇、古川康、古川禎久、細田博之、松本純、三ツ

日本遺族会 第3ブロック会



第3ブロック会議で挨拶する市長健之助副会長=10月16日、和歌山市

の活動状況等の報告があった。特に日本遺族会への分担金の問題は深刻で議論を深めなければならぬと意見があった。何れも今後の遺族会を運営していく中で重要な問題であり白熱した議論が交わされた。本会が検討している「今後の遺族会を考える特別委員会」の来年五月の答申に向けて反映されるよう、報告された。

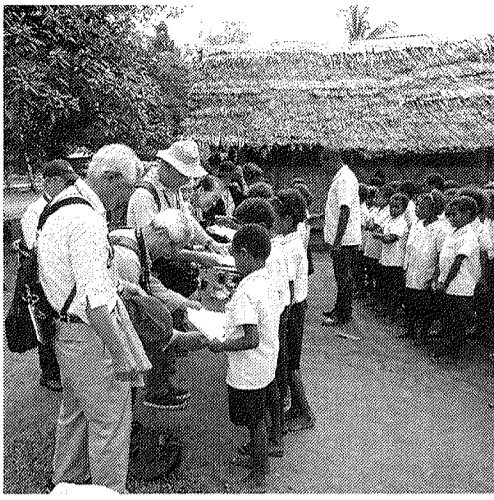
本会の諸会議

- 本会で11月6日以降、開催した各種会議は次の通り。
- ▼常務理事会 11月6日 ①英霊顕彰・処遇改善運動の経過並びに今後の運動方法②令和元年度上半期収支計算書③第75回全国戦没者遺族大会の運営④事務局就業規則の定年延長及び休日内規
- ▼監事会 11月7日 ①令和元年度各会計等上半期計算関係書類の監査職員共済会上半期月次決算の監査について。
- ▼第5回今後の遺族会を考える特別委員会 11月6日 ①英霊顕彰問題②遺児の慰霊友好親善・戦跡慰霊巡拝等のあり方について。

好問 友訪 慰親 靈善 各地で亡き父の冥福祈る

慰霊友好親善事業が実施され、東部ニューギニア、トラック・パラオ諸島の各地に四十二人の遺児が参加した。一行は亡き父の眠る各地、各海域を訪れ、慰霊追悼を行うとともに、小学校や病院を訪問し、学用品や車椅子等を寄贈し民間外交に努めた。特にトラック・パラオ諸島は台風十九号の影響で日程に支障をきたした。

東部ニューギニア
東部ニューギニア慰霊
友好親善訪問団(総括団
長・田原政信本会監事他
二十五人)は、十月二日、
東京・靖国会館に集合し
結団式を行い、当日夜、
成田空港を出発し、翌朝、
オーストラリアのブリス
ベン経由でパラオニュー
ギニアのポートモレス
ビーに到着。その後一行



サワリン小学校で児童らに学用品等を寄贈する
団員=10月7日、ウエワクで

は二班に分かれ、それぞれ
縁の地へと向かった。
チャーター機を利用し、
A班は、バラム、ソナム、
アロヘミ、アスパイン、
イマス、ムリック、スナ
ンバラを、B班はサラモ
ア、ナバリバ、マダン州
屏風山、ブス河と各地の
上空を巡行し、亡き父へ
の思いを馳せた。
その後、A班はソナム、
ブーツ、ボイキン、パロ
ン、テレブ岬、ウエワク
洋展台で、B班はラエ、
ウエワク、ウオーム岬の
各地で慰霊祭を行い、亡
き父上の冥福を祈った。
七日には、ウエワクに
ある日本政府建立の
「ニューギニア戦没者の
碑」にて全戦没者追悼式
を挙行、ご英霊に感謝の
誠を捧げた。

また、友好親善では、
A班がウエワク総合病院
へ、B班はラエのアンガ
ウ総合記念病院へそれぞ
れ車椅子を寄贈した。さ
らに、ウエワクのベタ
ニールズ小学校、サワ
リン小学校を訪問し、団
員が持ち寄った学用品・
衣類等を寄贈し、現地の
方々との友好を深めた。
九日、所期の目的を果
たした一行は、それぞれ
の思いを胸に全員無事に
帰国した。



コロール市内の病院を訪問、スタッフと談笑する
江田総括団長=10月16日、パラオで

空港より出発した。
トラック班は、チュー
ク(旧春島)に到着し、
南水道、西水道、愛国丸
ロールに到着。翌日より
沈没地点、夏島を訪れ、
亡き父の冥福を祈った。
パラオ班は、十五日、コ
ロールに到着。翌日より
コロール市内、ペリユー
島にて、個人慰霊祭を行
い亡き父に手を合わせた。
トラック班は、十六日、
春島にて、パラオ班は、
十八日ペリユー島の
「西太平洋戦没者の碑」
にて、全戦没者追悼式を
行い御霊の安らかならん
ことを祈った。

本会への賛助金のお礼

本紙(同面)でもお願
いしている本会への賛助
金につきまして、ご賛同
いただきました左記の
方々に対し、お礼申しあ
げます。
なお、大変致縮ではご
ざいます都道府県名に
ついては、送金方法によ
り寄せていただき、記入
項目に不明な点(戦没者
の部隊等)があれば各遺
族会に相談し、条件を満
たした上で提出願いた
い。なお、申込多数の場
合は選考となる。
また、巡拝地域や実施
時期等は、相手国や交通
機関等の事情で変更、延
期、または中止となる場
合があるので、予めご了承
願いたい。なお、参加
者の高齢化に考慮し、看
護師が同行する。

遺児の参加者募集

慰霊友好親善事業

募集要項はつぎのとおり。
▼時期及び地域 実施
概要参照
▼参加費 10万円
東京等に集合し、結団
式及び渡航に係る説明会
を行う。なお、集合場所
まで及び解散場所からの
交通機関はご自身の手配
になる。また、移動に係
る国内交通費及び帰国時

日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族支援、
慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動
のために賛助金を募っております。
本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛同いた
だきますようお願い申し上げます。

郵便振替
0013021094666
みずほ銀行 九段支店
普通預金 00800030

※口座名は「一般財団法人日本遺族会」にて「二ホンソウカイ」

実施概要

(広域地域)			
実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 台湾・パシフィック	令和2年 2月3日～2月9日	30人	令和元年 12月3日
2 ビスマルク諸島	令和2年 2月12日～2月19日	40人	令和元年 12月12日
3 フィリピン(2次)	令和2年 3月13日～3月20日	120人	令和2年 1月14日
4 中国	令和2年 3月23日～3月31日	80人	令和2年 1月23日

(特定地域)			
実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 西部ニューギニア	令和2年 1月17日～1月26日	36人	令和元年 11月18日
2 東部ニューギニア	令和2年 2月12日～2月19日	36人	令和元年 12月12日
3 ミャンマー	令和2年 2月25日～3月4日	36人	令和元年 12月23日

靖国神社 崇敬奉賛会事務局
〒102-8246 東京都千代田区九段北 三一一一
電話 03(3261)8143(直通)
受付時間:平日午前9時～午後5時

●記念事業にご奉賛金
一口金五、〇〇〇円(何口でも可)
※年会費を含めることもできます。

記念事業にご奉賛いただきました方は、
受納月から一年間の崇敬奉賛会正会員と
して、ご待遇申し上げます。

- 記念事業経費費:二十億円
- 神社拠出金:十億円
- 募金目標:十億円
- 募金期間:本年十二月末

お申し込みお問い合わせ
御創立150周年記念
事業特設サイト <http://www.yasukuni.or.jp/150th/>

靖国神社御創立
百五十年記念事業

ご奉賛のお願い

御創立百五十年記念事業

- 一、本殿・拝殿・霊廟簿奉安殿関連工事
- 二、靖国会館内装改修・休憩所設置工事
- 三、外苑整備工事

ご遺族・崇敬者各位をはじめ幅広い
国民の皆様方のご賛同をいただき、この
記念事業へご奉賛くださいますよう
お願い申し上げます。

※拝殿耐震化工事は、令和三年竣工予定です。

